

# 発電所だより

9月号

平成26年9月発行 東北電力株女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp/>

## 《私たち こんな仕事をしています》

女川原子力発電所では、現在、定期検査や各種安全対策工事などを行っており、協力企業の皆さんも含めると約2,000人(このうち東北電力社員は約500人)が働いています。「発電所だより」では、発電所で働く所員を通して女川原子力発電所の「今」を紹介しています(随時掲載)。

今回は、土木建築部 建築グループの登場です。



事務新館地下1F(中央の柱が免震装置)

### 土木建築部 建築グループ

原子炉建屋をはじめ、発電所内の全ての建物の設計・工事・維持管理を担当。一級建築士など建築技術に関する資格を有する13人のグループ員で構成されています。

### 所員が働いている事務建屋は、地震に強い造りなんですか？

現在使用している事務新館(写真左)は、東日本大震災が起きたときは建設中でしたが、免震構造で設計していたため被害はありませんでした。一方、当時発電所員が働いていた事務旧館(写真右)についても、震災前に耐震工事(外壁に鉄骨部材を設置)を完了していたため被害は無く、指揮命令拠点となる緊急対策室などの機能が維持され、所員は適切な対応を行うことができました。

### 現在の主な仕事内容は？

建屋の新規制基準対応工事(火災・津波・重大事故対策など)および耐震工事を実施しています。現在、最盛期となっている工事は、原子炉建屋の耐震工事で、原子炉建屋上部への鉄骨部材の追加や壁へのコンクリート増し打ちなどを実施しています。(写真、図)

東日本大震災後、建屋の健全性について詳細な点検を行い、安全性に影響のないことを確認しましたが、今回、鉄骨部材の追加などにより原子炉建屋の耐震性をさらに向上させています。



事務新館(免震構造)



事務旧館(震災当時使用)

### チームワーク向上のために取り組んでいることは？

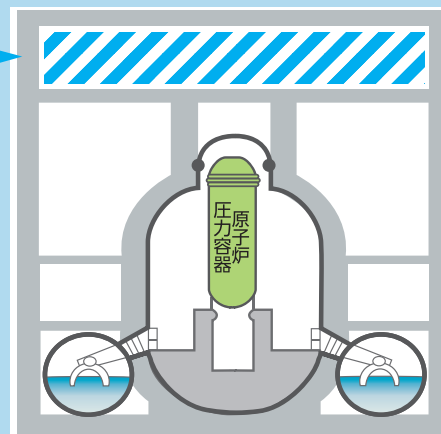
グループ員の出身地は、東北各地や新潟県とバラエティーに富んでいます。休憩中の会話では、方言や各県の話で盛り上がり、職場の一体感を高めています。



壁へのコンクリート増し打ち



鉄骨部材を追加設置



原子炉建屋

## 《第91回石巻川開き祭りに参加しました》

「第91回石巻川開き祭り」が7月31日と8月1日に石巻市で開催されました。石巻地域の東北電力グループ企業で構成する「東北電力企業グループ石巻まつり会」総勢206人は、4年ぶりに石巻川開き祭りへ参加しました。今年、完全復活を遂げた「孫兵衛船競漕」では、参加4チームのうち2チームが準決勝まで進出。来年は決勝進出できるよう、再チャレンジを誓い合いました。黄色と黒のそろいの法被をまとって参加した「大漁踊り」では、皆が一体となり、全身に汗をにじませながら石巻の夏を楽しみました。



## 《女川小学校でエネルギー出前講座を開催しました》

8月8日、女川町が小学生を対象に夏休み学習として実施した「まなびっこ」の一環として、発電所員が講師となりエネルギー出前講座を開催しました。小学1年生から6年生の児童と保護者13人が参加。発電所から家庭に電気が届くまでの仕組みなど、簡単な実験を通じ学びました。参加者からは「電気の仕組みが良くわかった」「また開催してほしい」などの声がありました。



## 女川原子力PRセンターからのお知らせ

### 「東北電力図画コンクール」の一般投票を行います

今回のコンクールにもたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。9月下旬から10月下旬までの間、一次審査を通過した200作品を女川原子力PRセンターに展示し、来館者の皆さまによる一般投票を行います。

是非、ご来館いただき、お気に入りの作品に投票してください。



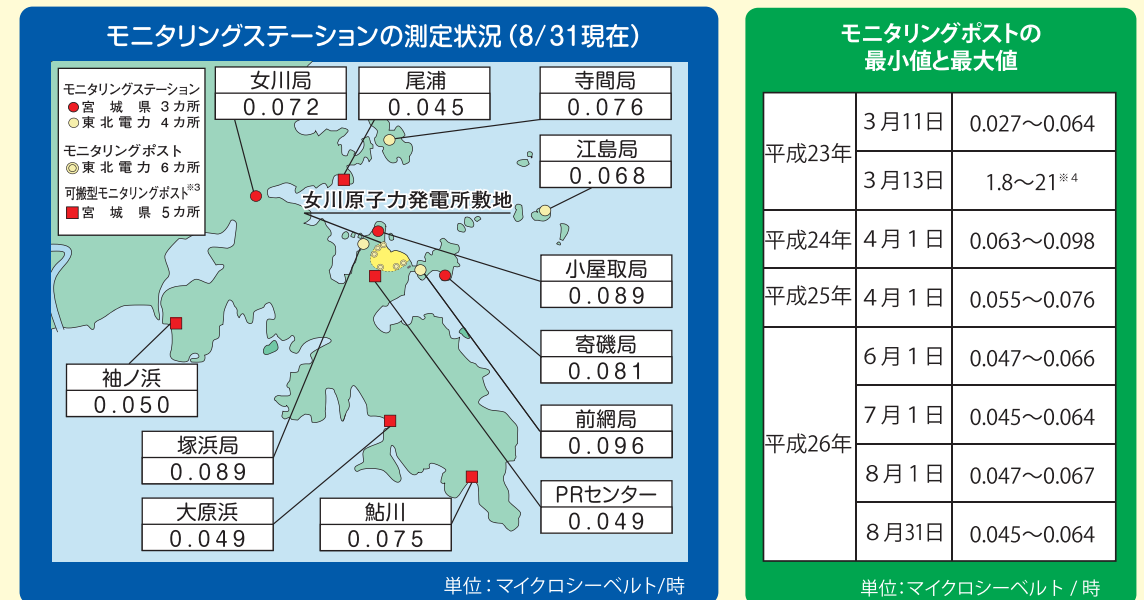
昨年の最優秀賞作品「海底清そう魚」  
(飯野川第一小学校 木村一意さん)

〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
TEL/0225-53-3410  
開館時間/9:30~16:30 (毎月第3月曜日は休館)

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.064マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、1年後、2年後、至近3カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。